

【17】平成30年度 大学院シラバス

専攻分野/コース (英文名)	内科学(代謝・内分泌内科) (Metabolism and Endocrinology)
研究指導教員	田 中 逸
研究・教育の概略	1) 体脂肪分布の総合評価システム確立 メタボリックシンドロームや非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) の病態解明や糖・脂質代謝との関連性、食事・運動など生活習慣病改善や薬剤介入の効果検討には体脂肪分布の総合的な評価が不可欠であるが、従来の体脂肪評価はインピーダンス法による体脂肪率と臍レベルの CT による平面的な内臓脂肪面積計測のみであった。私たちは 2 重 X 線透過法 (DEXA 法) による部位別体脂肪率評価に加えて、腹部 MRI と CT による腹部内臓脂肪と皮下脂肪の立体定量評価法とその画像構築、¹H-MRS による下腿骨格筋と肝臓における細胞内脂肪量の定量評価による体脂肪分布の総合的な評価システムを開発し、放射線科との共同研究を行っている。 2) 臓器別インスリン感受性の評価システム確立 インスリンの血糖調節作用における主な標的臓器は肝臓と骨格筋である。人工膵臓を用いた高インスリン正常血糖クランプは骨格筋のインスリン感受性を精密に評価することが可能であり、さらにクランプ中に経口ブドウ糖負荷併用により肝臓のインスリン感受性を同時に評価することができる。また、クランプ中の RR 間隔パワースペクトル解析による自律神経調節系におけるインスリン感受性評価、非侵襲血行動態モニタリングによる血管系におけるインスリン感受性も同時に評価できるシステムを開始する予定である。 このような臓器別インスリン感受性と体脂肪分布の総合評価を組み合わせることにより、食事療法と運動療法の科学的根拠と適正な指導アルゴリズムの確立、インスリン作用異常や薬剤効果の検討、メタボリックシンドロームの病態解明と有効な介入方法確立などの臨床研究を積極的に推進する。 3) 糖尿病合併症の発症・進展阻止 糖尿病合併症の予防と発症・進行阻止を目指して、血糖正常化を目指す治療アルゴリズム確立と大規模な遺伝子解析研究を柱にした臨床研究を強力に推進している。また当教室では独自の合併症評価ツールを駆使して、細小血管障害から動脈硬化症までの各種合併症を総合的に診断している。得られた多くのデータから効果的な治療法を見出すだけでなく、合併症の発症・進展阻止に関して新たなエビデンスを生み出そうとしている。 4) コルチゾール産生副腎腫瘍の診断法確立 副腎腫瘍のより効果的、より高精度の診断法を確立するため、コルチゾール濃度測定に関するキット間誤差 (多施設共同研究)、アドステロールシンチグラフィー集積率定量の意義、デキサメサゾン抑制試験における診断基準の問題点と改善策を検討し、さらに今後は高感度アッセイ法による唾液中ステロイドホルモン測定、11β-HSD 活性の意義の確立を目指す。
研究項目	1. 体脂肪分布の総合評価システム確立 2. 臓器別インスリン感受性の評価システム確立 3. 糖尿病合併症の発症・進展阻止 4. コルチゾール産生副腎腫瘍の診断法確立
準備学習(予習・復習)	・事前に参考資料を良く読んでおくこと。 ・配付資料の内容を確認しておくこと。

学籍番号	
氏 名	

平成30年度講義シラバス(1)

講義コード	※	専攻分野	内科学(代謝・内分泌内科)	
講義題目	臨床代謝学 I		必修/選択	必修
担当教員	田中 逸	担当教員連絡先	内線 3149	
単位数	2単位(前期1、後期1)	履修年次	1年	
テーマと目的	血糖調節機構について理解を深める。			
講義計画	糖尿病症例を通して病態を検討し、血糖調節機構の障害と治療を説明する。			
達成目標	1.基本的な血糖代謝メカニズムを論理的に説明できる。 2.糖尿病の確定診断に必要な基準を理解する。			
教科書・参考書	別途指示する			
準備学習(予習・復習・時間)	・事前に参考資料を良く読んでおくこと。 1 時間 ・配付資料の内容を確認しておくこと。			
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容 (出席@)	後期(回)	内 容 (出席@)	
1	膵内分泌組織総論:形態学	1	肝臓における糖代謝(1)	
2	栄養学総論	2	肝臓における糖代謝(2)	
3	膵β細胞の機能(1)	3	肝臓における糖代謝(3)	
4	膵β細胞の機能(2)	4	骨格筋における糖代謝(1)	
5	血糖調節の生理学総論	5	骨格筋における糖代謝(2)	
6	インスリンの生合成	6	脂肪組織における糖代謝(1)	
7	インスリン分泌機序(1)	7	脂肪組織における糖代謝(2)	
8	インスリン分泌機序(2)	8	肥満・IGT とインスリン分泌	
9	インスリン分泌の調節	9	糖尿病総論(1):病態生理	
10	インスリンの作用	10	糖尿病総論(2):診断・検査	
11	β細胞機能の定量的測定法	11	糖尿病総論(3):治療	
12	インスリン抵抗性・感受性・分泌能	12	Metabolic syndrome	
13	インスリン分泌促進・抑制因子	13	糖尿病関連の最新のトピックス	
14	グルコースホメオスターシス	14	後期のまとめ(1)	
15	ホルモンとグルコース代謝	15	後期のまとめ(2)	

講義担当者承認 (印)

学籍番号	
氏 名	

平成30年度講義シラバス(2)

講義コード	※	専攻分野	内科学(代謝・内分泌内科)	
講義題目	臨床代謝学Ⅱ		必修/選択	必修
担当教員	田中 逸	担当教員連絡先	内線 3149	
単位数	2単位(前期1、後期1)	履修年次	2年	
テーマと目的	糖尿病の最新の知識と臨床的アプローチについて学ぶ。			
講義計画	糖尿病症例を通して病態を理解し、診断・治療法を検討する。			
達成目標	1.糖尿病について病態を論理的に説明できる。 2.糖尿病について病態に基づいた診断・治療計画を作成できる。			
教科書・参考書	別途指示する			
準備学習(予習・復習・時間)	・事前に参考資料を良く読んでおくこと。 1 時間 ・配付資料の内容を確認しておくこと。			
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容 (出席◎)		後期(回)	内 容 (出席◎)
1	糖代謝総論		1	慢性合併症各論:細小血管障害
2	脂質代謝・リポ蛋白代謝総論		2	慢性合併症各論:大血管障害
3	糖尿病の概念		3	低血糖総論
4	糖尿病における糖脂質代謝		4	糖尿病の治療:食事療法
5	糖尿病の診断・病型分類		5	糖尿病の治療:運動療法
6	二次性糖尿病・遺伝子関連		6	治療:薬物療法・経口薬(1)
7	糖尿病と妊娠		7	治療:薬物療法・経口薬(2)
8	インスリン分泌能・インスリン感受性		8	治療:薬物療法:インスリン療法(1)
9	糖代謝関連検査		9	治療:薬物療法:インスリン療法(2)
10	1型糖尿病総論(1):病態生理		10	治療:薬物療法:インスリン療法(3)
11	1型糖尿病総論(2):検査		11	糖尿病関連の最新のトピックス
12	2型糖尿病総論(1):病態生理		12	脂質異常症総論:病態生理
13	2型糖尿病総論(2):検査		13	脂質異常症各論(1):診断・検査
14	糖尿病各論(1):急性合併症		14	脂質異常症各論(2):治療
15	糖尿病各論(2):慢性合併症総論		15	脂質異常症各論(3):治療

講義担当者承認

◎

学籍番号	
氏 名	

平成30年度講義シラバス(3)

講義コード	※	専攻分野	内科学(代謝・内分泌内科)	
講義題目	臨床糖尿病学Ⅰ		必修/選択	必修
担当教員	太田明雄	担当教員連絡先	内線 3149	
単位数	2単位(前期1、後期1)	履修年次	1年	
テーマと目的	糖尿病合併症全般の理解を深める。			
講義計画	糖尿病合併症の最新の知識を整理し、診断治療のアプローチについて理解する。			
達成目標	1.個々の疾患の概念、病態を説明できる。 2.病態に基づいた診断・治療計画を作成できる。			
教科書・参考書	別途指示する			
準備学習(予習・復習・時間)	・事前に参考資料を良く読んでおくこと。 1 時間 ・配付資料の内容を確認しておくこと。			
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容 (出席⑩)		後期(回)	内 容 (出席⑩)
1	細小血管障害の病態(1):網膜症		1	糖尿病ケトアシドーシスの概念
2	細小血管障害の病態(2):腎症		2	疫学
3	細小血管障害の病態(3):腎症		3	病態生理 (1):脱水と高浸透圧
4	細小血管障害の病態(4):神経障害		4	病態生理 (2):ケトン体産生
5	細小血管障害の病態(5):神経障害		5	診断・検査
6	診断と治療		6	治療
7	大血管障害の病態(1):脳梗塞		7	高浸透圧性高血糖の概念
8	大血管障害の病態(2):脳梗塞		8	診断・検査
9	大血管障害の病態(3):心血管合併症		9	治療
10	大血管障害の病態(4):心血管合併症		10	乳酸アシドーシスの概念
11	大血管障害の病態(5):末梢血管障害		11	病態生理
12	大血管障害の病態(6):末梢血管障害		12	診断・検査
13	診断と治療		13	治療
14	前期のまとめ(1)		14	低血糖総論
15	前期のまとめ(2)		15	診断・検査・治療

講義担当者承認

⑩

学籍番号	
氏 名	

平成30年度講義シラバス(4)

講義コード	※	専攻分野	内科学(代謝・内分泌内科)	
講義題目	臨床糖尿病学Ⅱ		必修/選択	必修
担当教員	太田明雄	担当教員連絡先	内線 3149	
単位数	2単位(前期 1、後期1)	履修年次	2年	
テーマと目的	糖尿病合併症について病態、診断、治療を学ぶ			
講義計画	糖尿病合併症1;高血圧、糖尿病腎症の病態、診断、治療を学ぶ。			
達成目標	1.疾患の概念、病態を説明できる。 2.病態に基づいた診断・治療計画を作成できる。			
教科書・参考書	別途指示する			
準備学習(予習・復習・時間)	・事前に参考資料を良く読んでおくこと。 1 時間 ・配付資料の内容を確認しておくこと。			
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容 (出席㊥)		後期(回)	内 容 (出席㊥)
1	糖尿病腎症の概念		1	糖尿病と高血圧症
2	糖尿病腎症の疫学		2	高血圧症の病態
3	腎症の診断・病期分類		3	治療(1):ACE 阻害薬
4	微量アルブミンの管理		4	治療(2):ARB
5	心腎連関の概念		5	治療(3):カルシウム拮抗薬
6	治療総論		6	糖尿病と妊娠総論
7	治療(1):食事管理		7	疫学
8	治療(2):血糖管理		8	病態
9	治療(3):血圧管理		9	診断・検査
10	降圧薬;ARB 他		10	治療
11	腎症のレミッション、レグレッション		11	症例検討(1)
12	末期腎不全の管理		12	症例検討(2)
13	ネフローゼ症候群の管理		13	症例検討(3)
14	症例検討(1)		14	症例検討(4)
15	症例検討(2)		15	まとめ

講義担当者承認 ㊥

学籍番号	
氏 名	

平成30年度講義シラバス(5)

講義コード	※	専攻分野	内科学(代謝・内分泌内科)	
講義題目	臨床糖尿病学Ⅲ		必修/選択	必修
担当教員	永井義夫	担当教員連絡先	内線 3149	
単位数	2単位(前期 1、後期1)	履修年次	2年	
テーマと目的	糖尿病合併症について病態、診断、治療を学ぶ。			
講義計画	糖尿病合併症2;糖尿病網膜症の病態、診断、治療を学ぶ。 糖尿病合併症3;糖尿病神経障害の病態、診断、治療を学ぶ。			
達成目標	1.疾患の概念、病態を説明できる。 2.病態に基づいた診断・治療計画を作成できる。			
教科書・参考書	別途指示する			
準備学習(予習・復習・時間)	・事前に参考資料を良く読んでおくこと。 1 時間 ・配付資料の内容を確認しておくこと。			
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容 (出席㊟)		後期(回)	内 容 (出席㊟)
1	糖尿病網膜症の病態		1	症例検討(1)
2	糖尿病網膜症の疫学		2	症例検討(2)
3	網膜症の診断・病期分類		3	症例検討(3)
4	糖尿病網膜症の管理		4	症例検討(4)
5	糖尿病神経障害の病態		5	症例検討(5)
6	糖尿病神経障害の疫学		6	症例検討(6)
7	神経障害の診断・病期分類		7	症例検討(7)
8	糖尿病神経障害の管理		8	症例検討(8)
9	症例検討(1)		9	症例検討(9)
10	症例検討(2)		10	症例検討(10)
11	症例検討(3)		11	症例検討(11)
12	症例検討(4)		12	症例検討(12)
13	症例検討(5)		13	症例検討(13)
14	前期のまとめ(1)		14	後期のまとめ(1)
15	前期のまとめ(2)		15	後期のまとめ(2)

講義担当者承認

㊟

学籍番号	
氏 名	

平成30年度講義シラバス(6)

講義コード	※	専攻分野	内科学(代謝・内分泌内科)	
講義題目	内分泌学		必修/選択	必修
担当教員	方波見卓行	担当教員連絡先	内線 3149	
単位数	1単位(後期 1)	履修年次	2年	
テーマと目的	ホルモン作用と代謝調節の理解を深める。			
講義計画	症例を通して病態を検討し、ホルモン作用と代謝調節機構を説明する。			
達成目標	1.基本的な内分泌メカニズムを論理的に説明できる。 2.病態に基づいた診断・治療計画を作成できる。			
教科書・参考書	別途指示する			
準備学習(予習・復習・時間)	・事前に参考資料を良く読んでおくこと。 1 時間 ・配付資料の内容を確認しておくこと。			
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席@)	後期(回)	内 容 (出席@)
1			1	内分泌学総論
2			2	ホルモンの分泌調節
3			3	Feedback 機構
4			4	ホルモンと受容体
5			5	負荷試験(1)
6			6	負荷試験(2)
7			7	負荷試験(3)
8			8	内分泌疾患総論
9			9	内分泌疾患各論
10			10	多発性内分泌腫瘍の概念
11			11	MEN I 型(Werner 症候群)
12			12	MEN II A 型(Sipple 症候群)
13			13	MEN II B 型
14			14	後期のまとめ(1)
15			15	後期のまとめ(2)

講義担当者承認 (印)

学籍番号	
氏 名	

平成30年度講義シラバス(7)

講義コード	※	専攻分野	内科学(代謝・内分泌内科)	
講義題目	臨床代謝学特論		必修/選択	必修
担当教員	田中 逸	担当教員連絡先	内線 3149	
単位数	2単位(前期1、後期1)	履修年次	1年(2年時でも可)	
テーマと目的	骨格筋と肝臓における糖代謝について学ぶ。			
講義計画	主要関連英文誌に掲載された糖・脂質代謝に関する原著、総説を輪読し、議論する。			
達成目標	1.糖尿病に関する最新の知識を習得する。 2.文献を基礎にした病態解明の理論の構築ができる。			
教科書・参考書	別途指示する			
準備学習(予習・復習・時間)	・事前に参考資料を良く読んでおくこと。 1 時間 ・配付資料の内容を確認しておくこと。			
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容 (出席⑩)		後期(回)	内 容 (出席⑩)
1	臓器別内科の最新知識(1)		1	臓器別内科の最新知識(16)
2	臓器別内科の最新知識(2)		2	臓器別内科の最新知識(17)
3	臓器別内科の最新知識(3)		3	臓器別内科の最新知識(18)
4	臓器別内科の最新知識(4)		4	臓器別内科の最新知識(19)
5	臓器別内科の最新知識(5)		5	臓器別内科の最新知識(20)
6	臓器別内科の最新知識(6)		6	臓器別内科の最新知識(21)
7	臓器別内科の最新知識(7)		7	臓器別内科の最新知識(22)
8	臓器別内科の最新知識(8)		8	臓器別内科の最新知識(23)
9	臓器別内科の最新知識(9)		9	臓器別内科の最新知識(24)
10	臓器別内科の最新知識(10)		10	臓器別内科の最新知識(25)
11	臓器別内科の最新知識(11)		11	臓器別内科の最新知識(26)
12	臓器別内科の最新知識(12)		12	臓器別内科の最新知識(27)
13	臓器別内科の最新知識(13)		13	臓器別内科の最新知識(28)
14	臓器別内科の最新知識(14)		14	臓器別内科の最新知識(29)
15	臓器別内科の最新知識(15)		15	臓器別内科の最新知識(30)

講義担当者承認

⑩

学籍番号	
氏 名	

平成30年度講義シラバス(8)

講義コード	※	専攻分野	内科学(代謝・内分泌内科)	
講義題目	臨床内分泌学Ⅰ		必修/選択	必修
担当教員	方波見卓行	担当教員連絡先	内線 3149	
単位数	2単位(前期1、後期1)	履修年次	1年	
テーマと目的	副腎疾患について理解を深める。			
講義計画	副腎疾患の最新の知識を整理し、診断治療のアプローチについて理解する。			
達成目標	1.個々の疾患の概念、病態を説明できる。 2.病態に基づいた診断・治療計画を作成できる。			
教科書・参考書	別途指示する			
準備学習(予習・復習・時間)	・事前に参考資料を良く読んでおくこと。 1 時間 ・配付資料の内容を確認しておくこと。			
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容 (出席◎)		後期(回)	内 容 (出席◎)
1	副腎の解剖		1	症例検討(1)
2	ステロイドホルモンの合成		2	症例検討(2)
3	副腎皮質ステロイドの分泌		3	症例検討(3)
4	副腎皮質ステロイドの作用		4	症例検討(4)
5	Cushing症候群総論		5	症例検討(5)
6	症状・検査		6	症例検討(6)
7	治療		7	症例検討(7)
8	Aldosteronism総論		8	症例検討(8)
9	症状・検査		9	症例検討(9)
10	治療		10	症例検討(10)
11	副腎皮質機能低下症総論		11	症例検討(11)
12	症状・検査		12	症例検討(12)
13	治療		13	症例検討(13)
14	副腎髄質総論		14	後期のまとめ(1)
15	褐色細胞腫		15	後期のまとめ(2)

講義担当者承認

◎

学籍番号	
氏 名	

平成30年度講義シラバス(9)

講義コード	※	専攻分野	内科学(代謝・内分泌内科)	
講義題目	臨床内分泌学Ⅱ		必修/選択	必修
担当教員	方波見卓行	担当教員連絡先	内線 3149	
単位数	2単位(前期1、後期 1)	履修年次	1年	
テーマと目的	下垂体疾患について理解を深める。			
講義計画	下垂体疾患の最新の知識を整理し、診断治療のアプローチについて理解する。			
達成目標	1.個々の疾患の概念、病態を説明できる。 2.病態に基づいた診断・治療計画を作成できる。			
教科書・参考書	別途指示する			
準備学習(予習・復習・時間)	・事前に参考資料を良く読んでおくこと。 1 時間 ・配付資料の内容を確認しておくこと。			
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容 (出席Ⓢ)		後期(回)	内 容 (出席Ⓢ)
1	下垂体前葉ホルモン総論		1	症例検討(1)
2	視床下部ホルモン総論		2	症例検討(2)
3	末端肥大症の概念		3	症例検討(3)
4	末端肥大症の症状・検査・治療		4	症例検討(4)
5	下垂体機能低下症の概念		5	症例検討(5)
6	下垂体機能低下症の症状・検査・治療		6	症例検討(6)
7	成長ホルモン分泌不全症の概念		7	症例検討(7)
8	成長ホルモン分泌不全症の検査・治療		8	症例検討(8)
9	無月経・乳汁分泌症候群の概念		9	症例検討(9)
10	乳汁分泌症候群の症状・検査・治療		10	症例検討(10)
11	下垂体後葉ホルモン総論		11	症例検討(11)
12	尿崩症の概念		12	症例検討(12)
13	尿崩症症状・検査・治療		13	症例検討(13)
14	SIADH の概念		14	後期のまとめ(1)
15	SIADH 症状・検査・治療		15	後期のまとめ(2)

講義担当者承認

Ⓢ

学籍番号	
氏 名	

平成30年度講義シラバス(10)

講義コード	※	専攻分野	内科学(代謝・内分泌内科)	
講義題目	臨床内分泌学Ⅲ		必修/選択	必修
担当教員	加藤 浩之	担当教員連絡先	内線 3149	
単位数	2単位(前期1、後期 1)	履修年次	2年	
テーマと目的	甲状腺疾患について理解を深める。			
講義計画	甲状腺疾患の最新の知識を整理し、診断治療のアプローチについて理解する。			
達成目標	1.個々の疾患の概念、病態を説明できる。 2.病態に基づいた診断・治療計画を作成できる。			
教科書・参考書	別途指示する			
準備学習(予習・復習・時間)	・事前に参考資料を良く読んでおくこと。 1 時間 ・配付資料の内容を確認しておくこと。			
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容 (出席◎)
1	甲状腺の解剖		1	症例検討(1)
2	甲状腺ホルモン		2	症例検討(2)
3	甲状腺機能検査		3	症例検討(3)
4	甲状腺機能亢進症総論		4	症例検討(4)
5	Basedow 病		5	症例検討(5)
6	そのほかの甲状腺機能亢進症		6	症例検討(6)
7	治療		7	症例検討(7)
8	甲状腺機能低下症総論		8	症例検討(8)
9	症状・検査		9	症例検討(9)
10	治療		10	症例検討(10)
11	甲状腺炎総論		11	症例検討(11)
12	甲状腺腫総論(腺腫・腺腫様甲状腺腫)		12	症例検討(12)
13	甲状腺悪性腫瘍総論		13	症例検討(13)
14	前期のまとめ(1)		14	後期のまとめ(1)
15	前期のまとめ(2)		15	後期のまとめ(2)

講義担当者承認 (印)

学籍番号	
氏 名	

平成30年度講義シラバス(11)

講義コード	※	専攻分野	内科学(代謝・内分泌内科)		
講義題目	臨床代謝実習 I		必修/選択	必修	
担当教員	田中 逸	担当教員連絡先	内線 3149		
単位数	1単位(前期・後期)	履修年次	2年		
テーマと目的	グルコースクランプ法によるインスリン感受性の評価				
講義計画	グルコースクランプ法を理解し、糖代謝を習熟する。				
達成目標	1. グルコースクランプ法を理解する。 2. クランプ法より得られたデータをもとに病態を説明できる。				
教科書・参考書	別途指示する				
準備学習(予習・復習・時間)	・事前に参考資料を良く読んでおくこと。 1 時間 ・配付資料の内容を確認しておくこと。				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容 (出席Ⓢ)		後期(回)	内 容 (出席Ⓢ)	
1	臨床演習 I		1	臨床演習 I	
2	臨床演習 I		2	臨床演習 I	
3	臨床演習 I		3	臨床演習 I	
4	臨床演習 I		4	臨床演習 I	
5	臨床演習 I		5	臨床演習 I	
6	臨床演習 I		6	臨床演習 I	
7	臨床演習 I		7	臨床演習 I	
8	臨床演習 I		8	臨床演習 I	
9	臨床演習 I		9	臨床演習 I	
10	臨床演習 I		10	臨床演習 I	
11	臨床演習 I		11	臨床演習 I	
12	臨床演習 I		12	臨床演習 I	
13	臨床演習 I		13	臨床演習 I	
14	臨床演習 I		14	臨床演習 I	
15	臨床演習 I		15	臨床演習 I	

講義担当者承認

Ⓢ

学籍番号	
氏 名	

平成30年度講義シラバス(12)

講義コード	※	専攻分野	内科学(代謝・内分泌内科)		
講義題目	臨床代謝実習Ⅱ		必修/選択	必修	
担当教員	田中 逸	担当教員連絡先	内線 3149		
単位数	1単位(前期・後期)	履修年次	2年		
テーマと目的	CGMS(連続血糖測定システム)による血糖変動の評価				
講義計画	CGM の原理と評価法を理解する。				
達成目標	1. CGMS より病態を説明できる。 2.血糖変動に基づいた治療計画を作成できる。				
教科書・参考書	別途指示する				
準備学習(予習・復習・時間)	・事前に参考資料を良く読んでおくこと。 1 時間 ・配付資料の内容を確認しておくこと。				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容	(出席◎)
1	臨床演習Ⅱ		1	臨床演習Ⅱ	
2	臨床演習Ⅱ		2	臨床演習Ⅱ	
3	臨床演習Ⅱ		3	臨床演習Ⅱ	
4	臨床演習Ⅱ		4	臨床演習Ⅱ	
5	臨床演習Ⅱ		5	臨床演習Ⅱ	
6	臨床演習Ⅱ		6	臨床演習Ⅱ	
7	臨床演習Ⅱ		7	臨床演習Ⅱ	
8	臨床演習Ⅱ		8	臨床演習Ⅱ	
9	臨床演習Ⅱ		9	臨床演習Ⅱ	
10	臨床演習Ⅱ		10	臨床演習Ⅱ	
11	臨床演習Ⅱ		11	臨床演習Ⅱ	
12	臨床演習Ⅱ		12	臨床演習Ⅱ	
13	臨床演習Ⅱ		13	臨床演習Ⅱ	
14	臨床演習Ⅱ		14	臨床演習Ⅱ	
15	臨床演習Ⅱ		15	臨床演習Ⅱ	

講義担当者承認

◎

学籍番号	
氏 名	

平成30年度講義シラバス(13)

講義コード	※	専攻分野	内科学(代謝・内分泌内科)	
講義題目	最新糖尿病学 1		必修/選択	選択
担当教員	田中 逸	担当教員連絡先	内線 3149	
単位数	2単位(前期1、後期1)	履修年次	2年	
テーマと目的	最新の疫学調査に基づく糖・脂質代謝について学ぶ。			
講義計画	主要関連英文誌に掲載された糖・脂質代謝に関する原著、総説を輪読し、議論する。			
達成目標	1.糖尿病に関する最新の知識を習得する。 2.文献を基礎にした病態解明の理論の構築ができる。			
教科書・参考書	別途指示する			
準備学習(予習・復習・時間)	・事前に参考資料を良く読んでおくこと。 1 時間 ・配付資料の内容を確認しておくこと。			
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容 (出席⑥)	後期(回)	内 容 (出席⑥)	
1	臓器別内科の最新知識(1)	1	臓器別内科の最新知識(16)	
2	臓器別内科の最新知識(2)	2	臓器別内科の最新知識(17)	
3	臓器別内科の最新知識(3)	3	臓器別内科の最新知識(18)	
4	臓器別内科の最新知識(4)	4	臓器別内科の最新知識(19)	
5	臓器別内科の最新知識(5)	5	臓器別内科の最新知識(20)	
6	臓器別内科の最新知識(6)	6	臓器別内科の最新知識(21)	
7	臓器別内科の最新知識(7)	7	臓器別内科の最新知識(22)	
8	臓器別内科の最新知識(8)	8	臓器別内科の最新知識(23)	
9	臓器別内科の最新知識(9)	9	臓器別内科の最新知識(24)	
10	臓器別内科の最新知識(10)	10	臓器別内科の最新知識(25)	
11	臓器別内科の最新知識(11)	11	臓器別内科の最新知識(26)	
12	臓器別内科の最新知識(12)	12	臓器別内科の最新知識(27)	
13	臓器別内科の最新知識(13)	13	臓器別内科の最新知識(28)	
14	臓器別内科の最新知識(14)	14	臓器別内科の最新知識(29)	
15	臓器別内科の最新知識(15)	15	臓器別内科の最新知識(30)	

講義担当者承認 ⑥

学籍番号	
氏 名	

平成30年度講義シラバス(14)

講義コード	※	専攻分野	内科学(代謝・内分泌内科)	
講義題目	最新糖尿病学 2		必修/選択	選択
担当教員	太田明雄	担当教員連絡先	内線 3149	
単位数	2単位(前期1、後期 1)	履修年次	2年	
テーマと目的	最新の疫学調査に基づく糖・脂質代謝について学ぶ。			
講義計画	主要関連英文誌に掲載された糖・脂質代謝に関する原著、総説を輪読し、議論する。			
達成目標	1.糖尿病に関する最新の知識を習得する。 2.文献を基礎にした病態解明の理論の構築ができる。			
教科書・参考書	別途指示する			
準備学習(予習・復習・時間)	・事前に参考資料を良く読んでおくこと。 1 時間 ・配付資料の内容を確認しておくこと。			
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価			
講 義 内 容				
	内 容 (出席◎)	後期(回)	内 容 (出席◎)	
1	臓器別内科の最新知識(1)	1	臓器別内科の最新知識(16)	
2	臓器別内科の最新知識(2)	2	臓器別内科の最新知識(17)	
3	臓器別内科の最新知識(3)	3	臓器別内科の最新知識(18)	
4	臓器別内科の最新知識(4)	4	臓器別内科の最新知識(19)	
5	臓器別内科の最新知識(5)	5	臓器別内科の最新知識(20)	
6	臓器別内科の最新知識(6)	6	臓器別内科の最新知識(21)	
7	臓器別内科の最新知識(7)	7	臓器別内科の最新知識(22)	
8	臓器別内科の最新知識(8)	8	臓器別内科の最新知識(23)	
9	臓器別内科の最新知識(9)	9	臓器別内科の最新知識(24)	
10	臓器別内科の最新知識(10)	10	臓器別内科の最新知識(25)	
11	臓器別内科の最新知識(11)	11	臓器別内科の最新知識(26)	
12	臓器別内科の最新知識(12)	12	臓器別内科の最新知識(27)	
13	臓器別内科の最新知識(13)	13	臓器別内科の最新知識(28)	
14	臓器別内科の最新知識(14)	14	臓器別内科の最新知識(29)	
15	臓器別内科の最新知識(15)	15	臓器別内科の最新知識(30)	

講義担当者承認

◎

学籍番号	
氏 名	

平成30年度講義シラバス(15)

講義コード	※	専攻分野	内科学(代謝・内分泌内科)	
講義題目	最新内分泌学		必修/選択	選択
担当教員	方波見 卓行	担当教員連絡先	内線 3149	
単位数	2単位(前期 1、後期1)	履修年次	1年	
テーマと目的	最新の疫学調査に基づく内分泌学について学ぶ。			
講義計画	内分泌疾患の最新の知識を整理し、診断治療のアプローチについて理解する。			
達成目標	1.個々の疾患の概念、病態を説明できる。 2.病態に基づいた診断・治療計画を作成できる。			
教科書・参考書	別途指示する			
準備学習(予習・復習・時間)	・事前に参考資料を良く読んでおくこと。 1 時間 ・配付資料の内容を確認しておくこと。			
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容 (出席◎)		後期(回)	内 容 (出席◎)
1	臓器別内科の最新知識(1)		1	臓器別内科の最新知識(16)
2	臓器別内科の最新知識(2)		2	臓器別内科の最新知識(17)
3	臓器別内科の最新知識(3)		3	臓器別内科の最新知識(18)
4	臓器別内科の最新知識(4)		4	臓器別内科の最新知識(19)
5	臓器別内科の最新知識(5)		5	臓器別内科の最新知識(20)
6	臓器別内科の最新知識(6)		6	臓器別内科の最新知識(21)
7	臓器別内科の最新知識(7)		7	臓器別内科の最新知識(22)
8	臓器別内科の最新知識(8)		8	臓器別内科の最新知識(23)
9	臓器別内科の最新知識(9)		9	臓器別内科の最新知識(24)
10	臓器別内科の最新知識(10)		10	臓器別内科の最新知識(25)
11	臓器別内科の最新知識(11)		11	臓器別内科の最新知識(26)
12	臓器別内科の最新知識(12)		12	臓器別内科の最新知識(27)
13	臓器別内科の最新知識(13)		13	臓器別内科の最新知識(28)
14	臓器別内科の最新知識(14)		14	臓器別内科の最新知識(29)
15	臓器別内科の最新知識(15)		15	臓器別内科の最新知識(30)

講義担当者承認

◎